

教科名	国語科	学年	2	週時間数	4
使用教科書	「現代の国語2」(三省堂) 「中学書写 一・二・三年」(光村図書)				
副教材等	「くりかえし漢字2」(秀学社) 「国語スイッチ2」(正進社) 「すらすら基本文法」(浜島書店) 「国語の便覧」(浜島書店)				

教科の目標	<p>○文学作品や説明的文章など様々な文章から、登場人物の思いや作者の心情、物の見方など、必要な情報に着目して要約などを行い、自分の考えを深めることができる。</p> <p>○自分の考えや集めた情報を整理し、発表したり文章にまとめた的確に表現したりすることができ、対話の話題や展開を捉えながら、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。</p> <p>○日本語の文法、漢字等についての知識を広げ、日常生活において正しく活用できる。</p>			
授業の進め方	<p>○教科書を中心に授業を進めます。プリントを用いて、ペアや4人グループでの活動を行います。必要に応じて便覧や辞典で意味や語句についての理解を深めます。</p> <p>○「くりかえし漢字2」を用いて週1回小テストを行い、基礎学力の定着を図ります。</p> <p>○「国語スイッチ2」を使ってテスト前の内容理解の補充を行います。</p> <p>○文法は「すらすら基本文法」を用います。文法事項の定着を図るとともに学習習慣を確立させます。</p>			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価 つけた たい 力	つ	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に親しんだり、理解したりすることができている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり、想像したりする力を養っている。また社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり、深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしている。また生活の中で言葉を適切にしようとしている。
	方法	・漢字テスト ・小テスト(暗唱、百人一首等) ・定期テスト ・作文、感想文、スピーチ等 ・書写の知識・技能	・授業における学習態度 ・定期テスト ・プリントの記述 ・作文、感想文、スピーチ等	・漢字テスト ・授業における学習態度 ・ワークやプリントへの取り組み ・作文、感想文、スピーチ等
学習の ポ イ ン ト	授 業	○言葉での表現の仕方、語彙による意味の微妙な違いなどに着目し、教科書やプリントなどの内容を理解し、使えるようになる。	○積極的に自分から考え、仲間の意見をよく聴き、考えを深めることを心がけよう。 ○便覧や機器による資料を収集し、伝え、学び合おう。	○仲間に尋ねるなど丁寧にに関わり、互いに学びあう関係を大切にしよう。 ○配布されたプリント等を整理し、復習につとめよう。
	家 庭 ト	<p>○漢字は何度も書いて練習し、文法の重要事項を覚え、資料で調べ、知識を定着させよう。</p> <p>○宿題は出された日にやっておく習慣をつけよう。</p> <p>○教科書を何度も読み、プリントを見直して基本となる重点ポイントを理解しよう。</p> <p>○読書や日記などに普段から取り組み、読み書きに親しもう。</p>		
定期 テ ス ト 範 囲	1学期中間(5月下旬頃)	詩「名づけられた葉」・古文「枕草子・徒然草」・説明「人間は他の星に住むことができるのか」・言語「敬語」		
	1学期期末(6月下旬頃)	短歌「短歌の世界/十首」・報告「壁に残された伝言」・文法「動詞」		
	2学期中間(9月下旬頃)	評論「100年後の水を守る」・古文「平家物語」・小説「セミロングホームルーム」・文法「形容詞・形容動詞」		
	2学期期末(11月下旬頃)	漢文「漢詩の世界」・詩「大阿蘇」・文法「助詞・助動詞」		
	学 年 末(2月下旬頃)	小説「小さな手袋」・評論「動物園でできること」・小説「走れメロス」		

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	詩	・繰り返し音読する。	「名づけられた葉」
	5	古文	・詩に込められた思いを捉える。	「枕草子」「徒然草」
		説明	・自然や人に対する筆者の感じ方を捉える。	「人間は他の星に住むことができるのか」
	6	言語	・古人の心情を現代と対比して読み取る。	「敬語」
		短歌	・主張と例示の関係に着目して読み、内容を理解する。	「短歌の世界/短歌十首」
	7	報告・説明文	・敬語の意味と種類を捉える。	「壁に残された伝言」
			・短歌の世界を読み味わう。	書写「楷書と行書」・暑中見舞い
2	9	書写	・事実を読み取り、作者の思いを捉える。	
			・作者の物の見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。	
			・楷書と行書の違いを知る。	
2	9	評論	・文章と図表などを結び付けて、筆者の考えを読み取る。	「100年後の水を守る」
	10	古文	・朗読し、古典のリズムを味わう。	「平家物語」
		小説	・会話、行動から心情の変化を捉える。	「セミロングホームルーム」
	11	漢文	・人と人との触れあいについて考える。	「漢詩の世界」
		詩	・漢詩独特の言葉づかいや調子を捉えて、漢詩の世界を読み味わう。	「大阿蘇」
	12	情報	・情景を想像し、古人の心情を捉える。	「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」
		書写	・詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情報を読み取る。	書写「行書と楷書の調和」・年賀状
			・意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。	
			・楷書と行書の使い分けを知る。	
3	1	百人一首 漢字のしくみ 言語	・百人一首を通して、古文や短歌を味わう。	「百人一首」
	2	小説	・熟語の読みについて知る。	「熟語の構成・熟字訓」「類義語・対義語、多義語」
		評論	・類義語・対義語、多義語について考える。	「小さな手袋」
	3	小説	・登場人物の人物像と相互関係を捉える。	「動物園でできること」
		<u>1年間を通して</u> 文法	・例示の効果に注目して、主張を読み取る。	「走れメロス」
			・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。	「すらすら基本文法」
			・日本語の語彙について理解する。	

教科名	社会	学 年	2	週時間数	3
使用教科書	「中学生の地理」(帝国書院) 「新しい社会 歴史」(東京書籍) 「中学校社会科地図」(帝国書院)				
副教材等	『未来へつなぐ歴史資料集』(新学社)				

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本や世界の歴史や特色, 人々の暮らしと工夫について, 仲間と共に学び合うことができる。</li> <li>○身に付けた知識や資料を読み取った内容を生かして, 日本や世界の諸地域の特色と課題, 時代の特色や, 社会の課題について考え, 理解を深めることができる。</li> <li>○史料や資料, 地図に書かれている内容を読み取ることができる。また, 資料を用いてさまざまな形にまとめたり, 読み取った内容を用いて社会的事象を理解したりすることができる。</li> <li>○基本的な知識や正しい理解を身に付け, 社会生活に生かすことができる。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小グループでの学び合いを行います。自分で考えてもわからない時は仲間に訊き, 仲間に訊かれたらわかるまで説明して, 支え合いながら課題を探究し, 学習内容を理解していきます。</li> <li>○ワークシートを使い学習を進めます。単元ごとに小テストを行います。</li> <li>○社会のしくみや工夫, 日本や世界の諸地域の課題と取り組みについて考え, 疑問点や学んだことをまとめたり発表したりします。</li> <li>○社会的事象への理解を深めるために仲間の意見を聴き, 自分の意見と比べながら考えます。</li> </ul>		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地理にかかわる事象や歴史にかかわる事象を多面的・多角的に考察している。</li> <li>○課題の解決に向けて公正に選択・判断したり, 思考・判断したことを説明したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仲間の考えをよく聴き, 自分の考えと比較したり, さらに自分の考えを深めたりしている。</li> <li>○学習した内容を身近なところに置き換えて考えたり, 解決に向けて考えたりしている。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト・定期テスト</li> <li>・レポートなどの課題の内容</li> <li>・ワークシートの記述内容</li> <li>・授業への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートなどの課題の内容</li> <li>・ワークシートの記述内容</li> <li>・授業への取り組み</li> </ul>
	学習のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本や世界の諸地域や各時代の特色を理解しよう。</li> <li>○日本や世界の諸地域や各時代の特色を資料から読み取り, 調べまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本や世界の諸地域の特色や関連を多面的・多角的に考え, 判断したりしたことを説明しよう。</li> <li>○各時代の特色を, 相互の関連や現在とのつながりなどに着目して考えよう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あらかじめ教科書を読み, 疑問を持って授業に参加しよう。</li> <li>○復習ノートを用意して学習内容をまとめるなどして, 少しずつ復習しよう。</li> <li>○社会の出来事に関心を持ち, 新聞やテレビでニュースを読んだり観たりしよう。</li> <li>○疑問に思ったことを, 本やインターネットなどで調べまとめよう。</li> <li>○学んだ内容と日常生活を関連づけて考えよう。</li> </ul>	
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬頃)	地理的分野(日本の地域的特色)	
	1学期期末(6月下旬頃)	地理的分野(日本の諸地域)	
	2学期中間(9月下旬頃)	地理的分野(日本の諸地域) 歴史的分野(中世日本)	
	2学期期末(11月下旬頃)	歴史的分野(近世の日本・日本の近代化)	
	学年末(2月下旬頃)	歴史的分野(日本の近代化)	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容		
1	4	《地理》 身近な地域の調査 日本の地域的特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や写真などを活用し、土地利用、地形などを読み取る。</li> <li>・地域の課題と解決に取り組み、持続可能な社会の在り方について考える。</li> <li>・世界的視野から見た日本の地域的特色や日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結び付き」の四つの観点から捉える活動を通して日本の国土の特徴を理解する。</li> <li>・日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付く。</li> <li>・地域の特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形・気候・自然災害・人口・資源・農業・林業、漁業・工業・商業、サービス・交通網</li> <li>・さまざまな地域区分</li> </ul>		
	5					
	6				日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方</li> <li>・中国・四国地方</li> <li>・近畿地方</li> </ul>
	7					
	2	9		《歴史》 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気付く。</li> <li>・地域の特色ある事象を、他の事象と関連付けて考察することを通して、地理的な見方や考え方を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部地方</li> <li>・関東地方</li> <li>・東北地方</li> <li>・北海道地方</li> </ul>
		10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの動きと政治の変化、新しい文化の特色と背景について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世の日本</li> </ul>
		11		近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸幕府による幕藩体制と人々の暮らしを知る。</li> <li>・幕府政治の改革のねらいを理解する。</li> <li>・産業やはなやかな町人文化を理解させ、幕府の政治改革の内容と行われた理由を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人との出会いと全国統一</li> <li>・江戸幕府の成立と対外政策</li> <li>・産業の発達と幕府政治の動き</li> </ul>
12						
3	1	開国と近代日本の歩み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民革命や産業革命を経た欧米諸国のアジアへの進出を背景に開国とその影響について理解する。</li> <li>・近代化によって、日本の国家や社会がどのように変化したかを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米における近代化の進展</li> <li>・欧米の進出と日本の開国</li> <li>・明治維新</li> <li>・日清・日露戦争と近代産業</li> </ul>		
	2					
	3					

教科名	数学	学 年	2	週時間数	3
使用教科書	「未来へひろがる 数学2」 (啓林館)				
副教材等	「数学の学習ノート」 (正進社) 「新・数学の基礎練習」 (正進社)				

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数量や図形などについて基礎的な概念や原理・法則などを理解することができる。また、事象を数学的に表現・処理したりすることができる。</li> <li>○数学を活用して事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。</li> <li>○数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとすることができる。また、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとするすることができる。</li> </ul>			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の定着と理解を深めるために、教科書などの問題に取り組む際、グループ活動など様々な形態を取り入れます</li> <li>○ジャンプのある課題に取り組むことで深い学びを身に付けていきます。</li> </ul>			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価	つけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。</li> <li>○図形の性質や関係を論理的に考察し、表現することができる。</li> <li>○関数関係の特徴を表、式、グラフを相互に関連付け考察することができる。</li> <li>○データの傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断することができる。</li> <li>○事象の起こりやすさについて考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとすることができる。</li> <li>○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとするすることができる。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・授業中の問題解決の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・授業中の問題解決の様子</li> <li>・グループでの活動の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子</li> <li>・副教材、ノートの内容</li> <li>・グループでの活動の様子</li> </ul>
	授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題をしっかり解こう。</li> <li>○用語や法則を理解しよう。</li> <li>○間違えた問題は繰り返し挑戦しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の過程を、数学的な表現を用いて説明しよう。</li> <li>○自分の考えを周りに伝えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人の話をよく聴こう。</li> <li>○粘り強く学習しよう。</li> <li>○わからないところを質問して解決しよう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習した内容はその日のうちにノートの見直しや、ワーク・プリント等で復習しよう。</li> <li>○ワークの解説等を利用し、答えに至るまでの式や理由も考えよう。</li> </ul>		
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬頃)	立体の体積・表面積，資料の活用，式の計算，連立方程式とその解き方		
	1学期期末(6月下旬頃)	連立方程式，一次関数		
	2学期中間(9月下旬頃)	一次関数と方程式，一次関数の利用，平行線と角		
	2学期期末(11月下旬頃)	図形の調べ方，図形の性質と証明（三角形）		
	学 年 末(2月下旬頃)	図形の性質と証明（四角形），場合の数と確率		

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な単項式，多項式の加法，減法の計算や，単項式どうしの乗法，除法の計算ができる。</li> <li>・式を用いて整数の性質を説明したり，目的に応じて簡単な等式を変形することができる。</li> <li>・代入法や加減法を用いて連立方程式を解くことができる。</li> <li>・連立方程式を使って問題を解決することができる。</li> <li>・一次関数の意味を理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の加法，減法</li> <li>・いろいろな多項式の計算</li> <li>・単項式の乗法，除法</li> <li>・文字の利用</li> <li>・連立方程式とその解き方</li> <li>・連立方程式の利用</li> <li>・一次関数</li> </ul>
	5			
	6	連立方程式		
2	7	一次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次関数の意味を理解し，一次関数のグラフを書いたり，グラフから一次関数の式を読み取ったりできる。</li> <li>・連立方程式の解とそのグラフとの関係について理解できる。</li> <li>・平行線と角の関係，多角形の角の関係や性質を理解する。</li> <li>・合同条件を理解し，それを用いて図形の性質を証明することができる。</li> <li>・二等辺三角形の性質や直角三角形の合同条件を証明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次関数の値と変化</li> <li>・一次関数のグラフ</li> <li>・一次関数と方程式</li> <li>・連立方程式とグラフ</li> <li>・一次関数の利用</li> <li>・角と平行線</li> <li>・多角形の角</li> <li>・三角形の合同</li> <li>・証明とその仕組み</li> <li>・証明の進め方</li> <li>・二等辺三角形</li> <li>・直角三角形の合同</li> </ul>
	9	一次関数		
	10	図形の調べ方		
	11			
3	12	図形の性質と証明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行四辺形の性質を知るとともに，平行四辺形になるための条件を証明することができる。</li> <li>・確率が考えられる事象について，確率の意味を考え，確率を求めることができる。</li> <li>・箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。</li> <li>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し，箱ひげ図で表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行四辺形の性質</li> <li>・平行四辺形になる条件</li> <li>・いろいろな四角形</li> <li>・平行線と面積</li> <li>・四角形の性質の利用</li> <li>・確率の求め方</li> <li>・いろいろな確率</li> <li>・確率の利用</li> <li>・箱ひげ図</li> <li>・データを活用</li> </ul>
	1	図形の性質と証明		
	2	場合の数と確率		
	3	箱ひげ図とデータの活用		

教科名	理科	学 年	2	週時間数	4
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス2」 (啓林館)				
副教材等	「理科の自主学習」 (新学社) 「学習の達成」 (新学社) 「理科資料集」 (新学社)				

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。</li> <li>○観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。</li> <li>○自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然事象に興味・関心がもてるよう、観察実験を行います。</li> <li>○グループでの対話を取り入れ、思考したことを交流しあいながら学習します。</li> <li>○課題の設定、仮設の設定、実験方法の立案、観察・実験、結果の処理、考察・推論の過程を繰り返す、科学的に探究する活動を行います。</li> </ul>		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的な事物・現象から問題を見いだしている。</li> <li>○見通しをもって観察、実験などを行って、得られた結果を分析して、解釈・表現し、科学的に探究している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的な事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストや小テスト</li> <li>・観察実験レポートの内容</li> <li>・観察実験の様子</li> <li>・授業での発言内容等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・授業プリントの内容</li> <li>・宿題等の提出物</li> <li>・観察実験への取り組み方</li> <li>・授業での発言内容</li> <li>・自主学習の取り組み</li> </ul>
学習のポイント	授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の中で出てきた重要語句で、理解できなかった部分は、教科書や資料集を活用しながら、知識として定着できるようにしよう</li> <li>○目的や意図を考えながら、観察実験を行おう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日ごろから疑問を持つことを大事にしてとことん追究していこう。</li> <li>○観察実験で得られた結果から、どのような特徴や規則性があるのか多方向から考え、分析してみよう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普段からテレビなどで放送される科学的な事象についてのニュースなどに目を向けて、授業で学習した科学的概念とのつながりを意識しよう。</li> <li>○教科書やワークシートをしっかりと見返して、学習した内容の理解と定着を図ろう。</li> <li>○授業で習った部分のワークを日々進めていくことで、理解を深めよう。</li> </ul>	
定期テスト範囲	1 学期中間(5月下旬頃)	語る大地 細胞のつくり 植物の体のつくりとはたらき	
	1 学期期末(6月下旬頃)	動物の体のつくりとはたらき 動物の行動のしくみ 物質の成り立ち	
	2 学期中間(9月下旬頃)	物質の表し方 さまざまな化学変化 化学変化と物質の質量	
	2 学期期末(11月下旬頃)	電流の性質 電流の正体 電流と磁界 電流と磁界	
	学 年 末(2月下旬頃)	地球をとり巻く大気のように 大気中の水の変化 天気の変化と大気の動き (大気の動きと日本の四季は次年度)	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	生物の体のつくりと はたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、その規則性や関係性を見いだして表現するとともに、理解する。また、それらの観察、実験などに関する方法を立案して、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞のつくり</li> <li>植物の体のつくり</li> <li>光合成</li> <li>蒸散</li> <li>維管束・道管・師管</li> <li>動物の体のつくり</li> <li>消化器官・呼吸器官</li> <li>循環器官・排出器官</li> <li>感覚器官・神経系</li> <li>運動器官</li> </ul>
	5	化学変化と原子・分子		
2	9	化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> <li>電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行う。また、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流のはたらき、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見出して表現したり、それらの理解したりするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応式</li> <li>化学反応と熱</li> <li>化学変化と物質の質量</li> </ul>
	10	電流とその利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>回路図、電気用図記号</li> <li>電流の性質</li> <li>電圧の性質</li> <li>電流と電圧の関係</li> <li>抵抗の性質</li> <li>電力と熱量</li> <li>電力量</li> <li>静電気の性質</li> <li>電流の正体</li> </ul>
	11			
	12			
3	1	電流とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>磁石の磁界</li> <li>直流と交流</li> </ul>	
	2	地球の大気と天気の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現するとともに、それらを理解する。また、それらについて見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析する技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象観測のしかた</li> <li>大気の動き</li> <li>水の循環</li> <li>霧、雲のでき方</li> <li>飽和水蒸気量</li> <li>湿度</li> <li>高気圧、低気圧</li> <li>気団、前線</li> <li>日本の天気</li> </ul>
	3			



教科名	音楽	学 年	2	週時間数	1
使用教科書	「中学生の音楽2・3上」(教育芸術社) 「中学生の器楽」(教育芸術社)				
副教材等	「音楽のハーモニー」(正進社)				

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽曲の美しさを感じ取りながら曲想と音楽の構造や背景との関わりを捉えて理解し、表現や鑑賞に生かすことができる。</li> <li>○音や音楽に対する自己のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、どのように音楽表現するかについて知識や技能を生かしながら、思いや意図をもつことができる。</li> <li>○様々な体験を通して音楽に対する興味・関心を養い、生活をより明るく豊かにし、音楽に親しんでいく態度を身につけることができる。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な音楽に興味・関心をもてるよう、幅広いジャンルの曲を扱います。</li> <li>○グループ活動を取り入れ、みんなで助け合い、工夫し合いながら学びを深めます。</li> <li>○年間を通して歌唱・鑑賞・器楽・創作の授業を行います。</li> </ul>		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲にふさわしい音楽表現を創意工夫している。</li> <li>○音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験している。</li> <li>○音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養っている。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・実技テスト</li> <li>・副教材、ワークシートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動への取り組み方</li> <li>・副教材、ワークシートの内容</li> <li>・実技テスト</li> </ul>
学習のポイント	授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普段から話をしっかり聴き、音楽の記号や用語を覚えて表現に生かそう。</li> <li>○それぞれの曲の時代背景や音楽の仕組みを覚えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱や器楽では、曲にあった表現を工夫しながら堂々と演奏できるようにしよう。</li> <li>○音楽を心で聴き、よさや美しさを感じ取れるよう常に意識しよう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普段からテレビなどで流れているクラシック、ポップスや伝統音楽など、様々な音楽を聴くことを心がけ、授業で学習する曲とのつながりを見つけて学びを深めよう。</li> <li>○実技は、頭の理解だけでは難しいので、時間や場所を考えて練習しよう。</li> </ul>	
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬)		
	1学期期末(6月下旬)	1学期で学習した内容	
	2学期中間(9月下旬)		
	2学期期末(11月下旬)	2学期で学習した内容	
	学 年 末(2月下旬)	1年間で学習した内容	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	・歌声づくり	・堂々と歌う。周りの音を聴き合う。	・既習曲，夢の世界を夏の思い出
	5	・交響曲の鑑賞	・曲の構成を理解し，動機に注目して曲想の変化を味わう。	・交響曲第5番ハ短調
	6	・パイプオルガンの鑑賞	・パイプオルガンの響きを味わい，旋律の重なりを楽しみながら聴く。	・フーガト短調
	7	・合唱コンクールに向けて	・自分のパートの音を正確にとり，協力してパート練習を進める。	・合唱コンクールの課題曲，自由曲選曲
2	9	・合唱コンクールに向けて	・周りのパートの音を聴きながら歌い，クラスで1つのものを創り上げる達成感を味わう。	・合唱コンクールの課題曲，自由曲（文化祭まで）
	10			
	11	・歌舞伎，オペラの鑑賞	・歌舞伎やオペラに親しみ，そのよさを味わう。	・「勸進帳」から ・「アイーダ」から
	12	・創作  ・器楽	・自由にリズムや音をつないで曲を創る楽しさを知る。楽譜に対しての知識や教養を深める。  ・アルトリコーダーに親しみ，良い音を追及して演奏する。	・自作曲  ・喜びの歌他
3	1	・日本の名曲	・歌詞の内容から情景を読み取り，表現を工夫して歌う。	・荒城の月
	2	・世界各地の音楽の鑑賞	・様々な楽器の音色や名前を知る。	・世界の諸民族の音楽
	3			

教科名	美術	学 年	2	週時間数	1
使用教科書	「美術 2. 3」 (光村図書)				
副教材等	「美術資料」 (秀学社) 「レタリング字典」 (秀学社)				

教科の目標	<p>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。</p> <p>○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>○主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。</p>			
授業の進め方	<p>○作品制作を通して、見通しをつけながら作業に取り組むようにします。</p> <p>○基本的な技術を身につけ、制作に応用できるようにします。</p> <p>○作品の制作の他、知識や技能を幅広く身につけられるようにします。</p> <p>○感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図、表現のよさ、美しさを感じ取る心を養います。</p> <p>○表現方法の異なる作品の鑑賞することにより、いろいろな表現方法に気づき、深めます。</p>			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価	つけたい力	<p>○対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</p> <p>○意図に応じて自分の表現方法を追求し、造形的に表している。</p>	<p>○自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>○美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動の取り組みようとしている。</p>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・完成作品</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・完成作品</li> <li>・定期テスト</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動への取り組み方</li> <li>・アイデアスケッチやワークシートの内容</li> </ul>
学習のポイント	授業	<p>○対象をよく観察し、ものを見る目を養い、考える力をつけよう。</p> <p>○様々な表現方法に挑戦し、技能を身に付け自己の表現につなげ、試行錯誤しながら表現の幅を広げよう。</p>	<p>○美術作品や友達の作品のよさや美しさを感じ取ろう。</p> <p>○表現の意図や機能性など、美術の働きや社会の中の美術を考えよう。</p> <p>○アイデアや感じたことを書き留め制作の基礎をつくろう。</p>	<p>○どの分野にも意欲的に取り組みよう。</p> <p>○仲間の考えや意見を尊重し、認め合いながら美術への感性を高めていこう。</p>
	家庭	<p>○制作に必要な準備物を考えて用意し、完成までの見通しをもって家庭でも自主的に制作しよう。</p> <p>○芸術や美術に興味を持ち、美術館等に足を運び、展覧会などを鑑賞しよう。</p> <p>○日頃より様々な分野の表現活動に興味を持ち、作品につなげていこう。</p>		
定期テスト範囲	1 学期中間(5月下旬頃)			
	1 学期期末(6月下旬頃)	1 学期で学習した内容		
	2 学期中間(9月下旬頃)			
	2 学期期末(11月下旬頃)	2 学期で学習した内容		
	学 年 末(2月下旬頃)	1 年間で学習した内容		

学期	月	単 元	学習のねらい	おもな学習内容			
1	4	《絵画分野》 ・想像の生き物      ・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発送をひろげ、想像力をはたらかせることができる。</li> <li>・色や形の効果を理解し、イメージにあった選択ができる。</li> <li>・身の回りの物や出来事を生き物と組み合わせて想像の生き物を作ることができる。</li> <li>・イメージをデザインし、粘土などを使い立体にすることができる。</li> <li>・多角的に見た立体物を想像することができる。</li> <li>・感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図と表現のよさ、美しさなどを感じ取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・作品制作計画</li>   <li>・仕上げ</li> <li>・名画を鑑賞</li> </ul>			
	5						
	6						
	7						
	9				《絵画分野》 ・デッサン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象物をよく観察し、特徴や形をとらえることができる。</li> <li>・画描における形や明暗の表し方、意図に応じた道具の使い方などの基礎的技能を応用させ、制作に活用することができる。</li> <li>・基本的な立体形のとらえ方がわかり、形、明暗を工夫し立体的に表現することができる。</li> <li>・細部まで自分の表現を追及し、試行錯誤しながら制作ができる。</li> <li>・感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図と表現のよさ、美しさなどを感じ取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆デッサン</li> <li>・静物のデッサン</li> <li>・鉛筆のグラデーション</li> <li>・光の当たり方や影のでき方を学ぶ</li> <li>・立体の描き方</li> </ul>
	10						
	11						
12	・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の作品の鑑賞</li> <li>・名画を鑑賞</li> </ul>					
3	1	《絵画分野》 ・風景画     ・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描きたい風景を選択し、描くことができる</li> <li>・透視図法を使い、立体物を描くことができる。</li> <li>・細部まで自分の表現を追及し、試行錯誤しながら制作ができる。</li> <li>・自分らしくよりよい表現を目指して創意工夫することができる。</li> <li>・制作に集中して取り組み、最後まで根気よく仕上げようと努力する。</li> <li>・感性や想像力を働かせ、自分の見方や感じ方で作者の心情や意図と表現のよさ、美しさなどを感じ取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下書き</li> <li>・着色</li> <li>・仕上げ</li> </ul>			
	2						
	3						

教科名	保健体育	学 年	2	週時間数	3
使用教科書	中学校保健体育（学研）				
副教材等	図解中学体育（暁教育図書） 学習の達成（新学社）				

教科の目標	<p>○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>○運動についての自己課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</p>			
授業の進め方	<p>○毎時間準備運動をしながら、体力づくりと怪我の予防をしていきます。</p> <p>○各種目の基本的な動作や技術の練習をして、技能の向上を図り、記録を測りながら、自己の課題の達成度を測ります。</p> <p>○グループ活動を積極的に取り入れ、自分たちで課題発見・解決できるような環境をつくります。</p> <p>○準備や片付けなど互いに協力してできるようにします。</p>			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価	つけたい力	<p>○各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について考えを理解している。</p> <p>○各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>○運動を豊かにするための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組みや目的に応じた組み合わせを工夫している。</p> <p>○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>○運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもっている。</p> <p>○健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・技能テスト</li> <li>・習熟度テスト</li> <li>・ワークシートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操への取り組み</li> <li>・技能テスト</li> <li>・グループ活動での言動</li> <li>・ワークシートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み方</li> <li>・授業での準備・片付け</li> <li>・グループ活動での参加</li> <li>・ワークシートの取り組み</li> </ul>
	学習のポイント	<p>○自己の課題解決に向けて、考えたり、それを実践したり表現していこう。</p> <p>○知識を技能に結びつけよう。</p>	<p>○自己の課題に向けて、積極的に取り組むとともに、グループや仲間に思いを発信していこう。</p>	<p>○準備や片付けなども含め、グループ活動には積極的に参加しよう。</p> <p>○健康・安全に留意し行動できるようにしよう。</p>
	家庭	<p>○日頃の健康管理に努めよう。</p> <p>○プリントの内容を理解し覚えよう。</p> <p>○図解体育や保健体育の本を読み、学習を深めよう。</p>		
定期テスト範囲	1 学期中間(5月下旬頃)			
	1 学期期末(6月下旬頃)	ラジオ体操・集団行動・器械運動・陸上競技・健康な生活と病気の予防		
	2 学期中間(9月下旬頃)			
	2 学期期末(11月下旬頃)	球技・陸上競技・健康な生活と病気の予防		
	学 年 末(2月下旬頃)	球技・ダンス・傷害の防止・1年間で学習した全範囲		

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	体づくり運動 体育に関する知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体力や生活に応じた課題をもって次の運動を行い、体力を高めることができるようにする。</li> <li>・自己の生活の中での生かし方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操第1</li> <li>・集団行動</li> <li>・体力を高める運動</li> <li>・体ほぐし・体力の意義</li> <li>・新体力テスト</li> </ul>
	5	健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの健康について考え、生活習慣病について理解を深める。飲酒・喫煙の害を理解し、それらの社会への悪影響を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病とその予防</li> <li>・喫煙と健康</li> <li>・飲酒と健康</li> </ul>
	6	陸上競技Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間同士で協力しあい技能向上の楽しさや喜びを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走種目</li> </ul>
	7	器械運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるように技能を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳び箱</li> </ul>
2	9	球技Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の技能を向上させ、自己の役割を把握し、互いに協力し合い、安全に留意しながらゲームを進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー</li> </ul>
		健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用の害を理解し、薬物乱用の社会への悪影響を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用と健康</li> <li>・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ</li> </ul>
	10	球技Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力を把握し、個人的技能や集団的技能の高まりを図り、作戦を立てながらゲームを進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール</li> </ul>
	11	武道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道</li> </ul>
12	陸上競技Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力を把握し、個人的技能や集団的技能の高まりを図り、自己の記録を伸ばす工夫ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離</li> </ul>	
3	1	傷害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害時の行動や応急手当の方法を実践できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害に備えて</li> <li>・応急手当の意義と方法</li> </ul>
	2	球技Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力を把握し、個人的技能や集団的技能の高まりを図り、作戦を立てながらゲームを進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトテニス</li> </ul>
	3	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで踊る楽しさや喜びを味わい、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンス</li> </ul>

教科名	技術	学 年	2	週時間数	1
使用教科書	「New 技術・家庭 技術分野」(教育図書)				
副教材等	なし				

教科の目標	○実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるとともに、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定しそれを解決する力や、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする態度等を育成する。		
授業の進め方	○プリントを中心に教科書なども活用しながら学習を進めます。学習形態は4人程度のグループで進めていきますので、わからないことや困ったことはまずはグループで相談し解決を目指しましょう。ただし作業の場面では安全面を考え、わからないことや自信がないことは先生に確認しましょう。		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つけたい力	○生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
	方法	・知識については主に定期テストをもってその定着を確認し、評価します。技能については技能テストや作業の確認などを、主に授業中に行い評価します。	・プリントや定期テストで確認し、評価します。
学習のポイント	授業	○学習に取り組む様子や学習内容の定着を確認するため、提出物などは期日を守り提出してください。	○学習に取り組む様子や学習内容の定着を確認するため、提出物などは期日を守り提出してください。
	家庭	○学習内容を実生活で生かし、より豊かな生活を創造しましょう。	
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬頃)		
	1学期期末(6月下旬頃)	「エネルギーの変換の技術」にかかわる内容から出題します。	
	2学期中間(9月下旬頃)		
	2学期期末(11月下旬頃)	「エネルギーの変換の技術」にかかわる内容から出題します。	
	学 年 末(2月下旬頃)	「情報の技術」にかかわる内容から出題します。	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	〈エネルギー変換の技術〉	〈エネルギー変換の技術〉 ・エネルギー変換にかかわる内容について、主に電気にかかわる内容の学習と製作を行います。	〈エネルギー変換の技術〉 ・エネルギー変換の技術を見つけよう ・発電について知ろう ・電気に関する技術を知ろう ・設計のしかたを知ろう ・問題を解決する工夫を考えよう ・実習の安全な進め方を知ろう ・設計に沿った製作をしよう
	5			
	6			
	7			
2	9	〈情報の技術〉	・エネルギー変換にかかわる内容について、主に機械にかかわる内容の学習をします。  ・身の回りにあるエネルギー変換の技術を利用した機械を、安全に利用するための知識や、保守・点検について学習をします。  〈情報の技術〉 ・情報通信ネットワークでの情報の利用について学習をします。  ・双方向性のあるコンテンツの設計を通して、問題を解決する方法や手順を考える。	・機械に関する技術を知ろう  ・保守・点検の仕方を知ろう ・電気の安全な使い方を知ろう  (情報の技術) ・双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう ・双方向性のあるコンテンツの設計の仕方を知ろう ・設計を図で表す方法を知ろう
	10			
	11			
	12			
3	1		・使用目的や条件に合う作品を設計・製作する。 ・設計に沿って、安全で正確にプログラムの作成保存、動作確認、デバックができる。  ・1年間の学習をふり返り、次年度や実生活に生かす態度を養います。	・設計に沿った双方向性のあるコンテンツを製作しよう  ・1年間の学習で学んだことをまとめよう
	2			
	3			



教科名	家庭	学 年	2	週時間数	1
使用教科書	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する (教育図書)				
副教材等					

教科の目標	<p>○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解をし、それらに関わる技能を身につけることができる。</p> <p>○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うことができる。</p> <p>○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協同し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけることができる。</p>			
	<p>○より良い生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中で色々な課題を解決する方法を学びます。</p> <p>○実習は班で協力して進めます。その過程で工夫し、創造する能力や物を作る技術を習得します。レポートにまとめるので期日までの提出があります。</p> <p>○家庭科プリント(ファイル)提出や宿題があります。自分で調べたりしながら完成させ、期限を守って提出しましょう。</p>			
授業の進め方	<p>○より良い生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、実際の生活の中で色々な課題を解決する方法を学びます。</p> <p>○実習は班で協力して進めます。その過程で工夫し、創造する能力や物を作る技術を習得します。レポートにまとめるので期日までの提出があります。</p> <p>○家庭科プリント(ファイル)提出や宿題があります。自分で調べたりしながら完成させ、期限を守って提出しましょう。</p>			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
評価	つけたい力	<p>○家庭の基本的な機能及び家庭についての理解している。</p> <p>○幼児、高齢者について理解し技能を身に付けている。</p> <p>○生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けている。</p>	<p>○生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え、解決策を考えることができる。</p> <p>○実習や観察、調査、交流活動の結果等について、考察し、論理的に表現することができる。</p> <p>○他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践について評価・改善することができる。</p>	<p>○地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っている。</p> <p>○生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っている。</p> <p>○日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。</p> <p>○将来の家庭生活や職業との関わりを考え学習に取り組むことができる。</p>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>実習・課題の取り組み方</li> <li>作品</li> <li>ワークシートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各活動への取り組み方</li> <li>ワークシートの内容</li> <li>実習・課題の取り組み方</li> <li>作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各活動への取り組み方</li> <li>ワークシートの内容</li> <li>実習・課題の取り組み方</li> <li>作品</li> </ul>
学習のポイント	授業	<p>○普段から話をしっかり聴き、生活に必要な知識を覚え、技能を身に付けよう。</p>	<p>○生活課題について、学習した知識や技能を利用し解決できるように考えよう。</p>	<p>○どの分野にも意欲的に取り組もう。</p> <p>○仲間の考えを尊重しあい、学習に取り組もう。</p>
	家庭	<p>○学習した内容を生活の中に取り入れよう。</p> <p>○実習の前は、手順などをしっかり確認してこよう。</p> <p>○生活に関するテレビの特集や新聞・雑誌を見よう。</p> <p>○レシピ集を積極的に取り組み、提出しよう。</p>		
定期テスト範囲	1 学期中間(5月下旬頃)			
	1 学期期末(6月下旬頃)	私たちの成長と家族		
	2 学期中間(9月下旬頃)			
	2 学期期末(11月下旬頃)	私たちの食生活 調理と食文化		
	学 年 末(2月下旬頃)	1年間で学習した全範囲		

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容			
1	4	・ 幼児の生活と家族	・ 幼い頃を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の誕生から幼児期について知ろう</li> <li>・ 幼児の発達と個人差</li> <li>・ 運動機能 生理機能</li> <li>・ 情緒や社会性の発達言葉の発達</li> <li>・ 自立心 自律心</li> <li>・ 基本的な生活習慣 社会的な生活習慣</li> <li>・ 幼児の生活の遊びの重要性</li> <li>・ 遊びで育つ力</li> <li>・ 遊びを豊かにするもの</li> <li>・ 幼児の遊び場所</li> <li>・ 保育実習</li> </ul>			
	5		・ 幼児の体の発達を知ろう				
	6		・ 幼児の心の発達を知ろう				
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもにとっての家族を考える</li> <li>・ 家族・家庭や地域のかかわり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の生活習慣の身に着け方を知ろう</li> <li>・ 幼児の生活の特徴を知ろう</li> <li>・ 幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう</li> <li>・ 幼児の発達を支える大人の役割を考えよう</li> <li>・ 幼児とふれ合ってみよう</li> <li>・ 子どもを育てる環境としての家族の役割を考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びで育つ力</li> <li>・ 遊びを豊かにするもの</li> <li>・ 幼児の遊び場所</li> <li>・ 保育実習</li> <li>・ 子どもが育つ場の広がり</li> <li>・ 乳幼児のための社会施設</li> <li>・ 児童憲章</li> <li>・ 児童の権利に関する条約</li> </ul>			
	9		・ 調理と食文化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品の選択と購入について考えよう</li> <li>・ 購入した食品を適切に保存しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生鮮食品・加工食品</li> <li>・ 食品の表示</li> <li>・ 食品添加物</li> <li>・ 食品の保存</li> <li>・ 食中毒の防止</li> <li>・ 食の安全</li> <li>・ 食料自給率</li> <li>・ 食料資源</li> </ul>	
	10		・ 調理と食文化		・ 日常食の調理		・ 地域の食材を使った調理の計画と実習
	11		・ 私たちの衣生活		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の働きを知ろう</li> <li>・ 目的に合わせて自分らしく着よう</li> <li>・ 衣服を計画的に活用できるようになる</li> <li>・ 自分に合った衣服を手に入れよう</li> <li>・ 衣服の手入れをしよう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の働き</li> <li>・ TPO</li> <li>・ 和服</li> <li>・ 既製服の表示</li> <li>・ 繊維の種類</li> </ul>
3	1	・ 私たちの衣生活	・ 衣服の手入れをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗濯</li> <li>・ アイロン</li> <li>・ ブラシ</li> <li>・ 収納</li> </ul>			
	2	・ 私たちの住生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まいの働きを知ろう</li> <li>・ 健康を守る室内環境の整え方を考えよう</li> <li>・ 家庭内事故から家族を守ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まいの働き</li> <li>・ 換気、シックハウス症候群</li> <li>・ 家庭内事故</li> </ul>			
	3						

教科名	英語	学 年	2	週時間数	4
使用教科書	「NEW HORIZON English Course 2」(東京書籍)				
副教材等	「JOYFUL WORKBOOK 2」(新学社) 「English Master Notebook2」(明治図書) 「学習の達成 英語2」(新学社)				

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。</li> <li>○日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。</li> <li>○日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>○日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。</li> <li>○日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。</li> </ul>		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業はコミュニケーションの力を身につけるため、ペア・グループなど様々な授業形態・方法を取り入れ、つながりを大切にします。</li> <li>○ALTを交えた授業を定期的に行っていきます。英会話テスト(ISC)も行います。</li> <li>○正確な発音やリスニングの力を身につけるため、単語や英文のリピーティング学習に声を出して取り組みます。</li> <li>○家庭学習を促し、定着度合を確認するため、問題集やプリントを用いて復習や単語テストを行います。</li> </ul>		
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価	つきたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりしている。</li> <li>○「聞くこと」、「読むこと」において、場面や状況に応じて、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点などを捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況に応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝えあったりしようとしている。</li> <li>○「聞くこと」、「読むこと」において、場面や状況に応じて、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点などを捉えようとしている。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元テスト</li> <li>○小テスト</li> <li>○定期テスト</li> <li>○各種パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業における学習態度</li> <li>○単元テスト</li> <li>○小テスト</li> <li>○定期テスト</li> <li>○各種パフォーマンステスト</li> </ul>
	授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」において、必要な単語や文法事項を覚えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと」、「書くこと」において、場面や状況を意識して、表現したり伝えあったりしている。</li> <li>○「聞くこと」、「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点などを捉えよう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自習ノートを使って、単語や基本文を声に出しながら、何度も発音しながら書いて覚えよう。</li> <li>○ワーク、プリント、単語練習など、出された宿題を忘れずに取り組もう。</li> <li>○単語テストや定期テストに向けて、コツコツと勉強に取り組もう。</li> <li>○映画や音楽など普段から英語に関心をもち、英語に触れる機会を増やそう。</li> </ul>	
定期テスト範囲	1学期中間(5月下旬頃)	Unit 0, Unit 1, Let's Talk 1, Unit 2, Let's Talk 2	
	1学期期末(6月下旬頃)	Unit 3, Let's Write 1, Stage Activity 1, Let's Read 1	
	2学期中間(9月下旬頃)	Unit 4, Let's Write 2, Unit 5	
	2学期期末(11月下旬頃)	Let's Talk 3, Unit 6, Let's Talk 4, Stage Activity 2, Let's Read 2	
	学 年 末(2月下旬頃)	Unit 7, 2年生で学習した内容すべて	

学期	月	単元	学習のねらい	おもな学習内容
1	4	Unit 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動詞の過去形</li> <li>• 過去進行形</li> <li>• There is [are] ....</li> <li>• be going to</li> <li>• 助動詞will</li> <li>• SVOO</li> <li>• SVOC (C=名詞)</li> <li>• 5つの文構造</li> <li>• be going to, 助動詞will</li> </ul>
	5	Unit 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続詞when, if, that, because</li> <li>• May I ...? Could you ...?</li> </ul>
		Let's Talk 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。</li> </ul>	
	6	Grammar for Communication 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5つの文構造の復習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続詞</li> <li>• 接続詞when, because</li> </ul>
		Let's Listen 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。</li> </ul>	
	7	Unit 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不定詞 (目的・原因を表す副詞的用法)</li> <li>• (名詞的・副詞的・形容詞的用法)</li> <li>• It is ... +to</li> <li>• 不定詞</li> </ul>
		Let's Talk 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。</li> </ul>	
Grammar for Communication 2		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続詞を用いた文の復習。</li> </ul>		
7	Let's Listen 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不定詞 (目的・原因を表す副詞的用法)</li> <li>• (名詞的・副詞的・形容詞的用法)</li> <li>• It is ... +to</li> <li>• 不定詞</li> </ul>	
	Unit 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。</li> </ul>		
	Let's Write 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。</li> </ul>		
2	9	Grammar for Communication 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不定詞を用いた文の復習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 助動詞will</li> <li>• have to, do not have to</li> <li>• 助動詞must, must not</li> <li>• 動名詞 (目的語・主語)</li> <li>• 助動詞</li> <li>• 疑問詞+to</li> <li>• 主語+動詞+ (人) +疑問詞+to</li> <li>• 主語+be動詞+形容詞+that</li> <li>• Could you tell me how to get to ...? — Take ....</li> <li>• 疑問詞+to</li> <li>• 比較表現 (...er, the ...est) (more ..., the most ...)</li> <li>• (better, best) (as ... as ~)</li> <li>• 比較表現</li> <li>• Shall I ...?</li> <li>• 比較表現</li> </ul>
		Stage Activity 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。</li> </ul>	
	10	Let's Read 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。</li> </ul>	
		Let's Listen 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。</li> </ul>	
	11	Unit 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。</li> </ul>	
		Let's Write 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	
		Grammar for Communication 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 助動詞を用いた文の復習。</li> </ul>	
12	Let's Listen 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。</li> </ul>		
	Unit 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近なものについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。</li> </ul>		
	Let's Talk 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。</li> </ul>		
12	Let's Listen 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。</li> </ul>		
	Unit 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。</li> </ul>		
	Let's Talk 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の好みや要望を伝えながら買い物をする</li> </ul>		
3	1	Grammar for Communication 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較表現を用いた文の復習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較表現</li> <li>• 受け身 (平叙文) (疑問文) (by ... つき) (助動詞つき)</li> <li>• Do you want to ...? — I'd like to, but I can't.</li> <li>• 受け身</li> </ul>
		Stage Activity 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。</li> </ul>	
	Let's Read 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。</li> </ul>		
3	2	Let's Listen 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 商品のコマーシャルを聞き、商品の特長を聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較表現</li> <li>• 受け身 (平叙文) (疑問文) (by ... つき) (助動詞つき)</li> <li>• Do you want to ...? — I'd like to, but I can't.</li> <li>• 受け身</li> </ul>
		Unit 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各地の世界遺産を紹介することができる。</li> </ul>	
	3	Let's Talk 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。</li> </ul>	
		Grammar for Communication 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受け身の文の復習。</li> </ul>	
	3	Let's Listen 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。</li> </ul>	
3	3	Stage Activity 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。</li> </ul>	
		Let's Read 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 時系列を整理しながら内容を理解することができる。</li> </ul>	